

小児科看護講義内容及び時間数 (昭和30年度入学生)

		回数
緒論	小児及び小児科看護の理解—— 小児の特質 児童観の変遷 小児科看護の目標	1
第一章	小児の成長と発達 1. 成長発達課程に於ける小児の個性 2. 成長発達課程 a 身体的発育 b 精神的情緒的発達 c 成長発達の評価 3. 栄養 4. 遊びとレクリエーション 5. 小児の生活に於ける家庭	1 1 1 1
第二章	小児の養護保育 1 養護保育の概念 a " " " " " 目標 b 文化的社会的基礎 c 現在社会に於ける養護保育の根底にあるもの。 2 養護保育上の諸問題 a 両親と小児の関係 b 小児の直接的間接的欲求の取扱い c 家庭保育と社会的保育 d 小児の精神衛生 3 養護保育の実際(技術面) a 環境の整備 b 衣服寝具 c 食餌 d 玩具と遊び e 習慣づけ、健康教育 f 排泄 g 清潔	1.5 2.5
第三章	疾病をもつた小児の看護 1. 一般的看護 a 入院患児及家族の取扱 b 小児患者の観察 c 小児患者の看護計画 d 特殊治療に於ける看護 e 小児の安全計画 f リハビリテーション 2. 未熟児の看護 3. 乳児期の看護 4. 幼児期の看護 5. 青春期の看護 6. 学童期の看護	1 1 1.5 1.5 1 1
第四章	小児養護の社会的見方 1. 小児保健 2. 児童福祉 理念、歴史、事業内容 3. 反社会的行動児の指導 4. 地域社会に於ける児童施設 5. 小児の保護育成のための機関	2

総合講義  
各期に特に多くみられる疾患(伝染病をふくむ)をとりあげる

計15回